

所属 ビジネス学部		職名 教授	氏名 石坂 綾子	学位 博士（経済学）	兼任している研究科 ビジネス研究科
研究分野 経済学・経営学およびその関連分野			研究分野のキーワード 現代ドイツ経済史、現代ドイツ金融史		
学歴					
職歴					
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
戦後ドイツにおける開発援助政策の形成（1952-1961年）－世界銀行を通じた「復興」と「開発」－	単著	2023年07月	政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第260号		1頁～19頁
戦後秩序の形成と西ドイツをめぐる研究動向 - マーシャル・プランが遺したもの -	単著	2026年01月	政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第270号		52頁～59頁
1960年代西ドイツにおける対外経済不均衡と三大銀行	単著	2026年03月	明治大学政治経済研究所『政経論叢』第94巻第5・6号		1頁～22頁
学会発表					
金融史パネル「経常収支不均衡の認識論: 1960-70年代における対外均衡と対内均衡の歴史的位相」, 「なぜドイツマルクは切り上げられたのか? - 1960年代の経常収支不均衡についての歴史的経験 -」	単独発表	2021年05月	日本金融学会 2021年度春季大会(麗澤大学 (online))		
Why Was the Deutsche Mark Revalued in the 1960 's?: West Germany 's Historical Experience as an Another Surplus Country, Session: 'Japan as Number Two': Japan and International Adjustment in the Post-Bretton Woods World	単独発表	2022年07月	The XIXth World Economic History Congress (WEHC 2022) (Paris, France (online))		
マーシャル・プランとドイツ復興金融公庫 - 戦後ドイツにおける「復興」と「開発」の軌跡（1948-1990） -	単独発表	2025年10月	政治経済学・経済史学会東海部会（名古屋経済史研究会（COEHN）と共催）(名古屋大学大学院経済学研究科（東山キャンパス）)		
作品・制作等					
その他業績					
【書評】サラ・ロレンツィーニ著 / 三須拓也・山本健訳『グローバル開発史 - もう一つの冷戦 -』(名古屋大学出版会 2022年)	単独	2024年07月	政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第264号		43～45頁
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
1995年05月～現在	社会経済史学会				
1995年05月～現在	政治経済学・経済史学会				
1998年05月～現在	日本金融学会				
2004年12月～現在	ドイツ資本主義研究会（ADWG. NF）				

社会活動		
2022年09月 ~ 2025年09月	【「Bilingual Internship Domestic」株式会社ブライセン（IT企業）との連携】ビジネス学部グローバルビジネス専攻（専修）では、学びの集大成として「Bilingual Internship Overseas」・「Bilingual Internship Domestic」を開講し、国内外のグローバル企業でのインターンシップを実施しており、東京に拠点を置く株式会社ブライセン（ソフトウェア・システム開発など）と連携して、3週間のインターンシップ研修に学生を派遣した。株式会社ブライセンは海外拠点をもち、オフショア開発に力を入れていることから、外国籍の従業員が多く、グローバル人材の活用に積極的な企業であった。このインターンシップでは、多国籍な従業員が働く東京本社において、主に商品知識の理解や営業プレゼンテーションに取り組んだ。	
2023年04月 ~ 2024年09月	【「Bilingual Internship Domestic」多摩信用金庫との連携】ビジネス学部グローバルビジネス専攻（専修）では、学びの集大成として「Bilingual Internship Overseas」・「Bilingual Internship Domestic」を開講し、国内外のグローバル企業でのインターンシップを実施しており、東京・立川市に本店を置く多摩信用金庫と連携して、3週間のインターンシップ研修に学生を派遣した。インターンシップでは、輸出入決済、海外企業とのマッチングなどから多摩地域の取引先企業を支援している海外事業支援部をはじめとして、資金証券部や価値創造事業部などにおいて研修に参加し、金融機関の業務を幅広く知る機会となった。	
教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
理論と現実のビジネスの動きを合わせて解説	2016年04月 ~ 現在	ビジネス学部グローバルビジネス専攻においては、理論をベースとした専門科目「金融システム」と、実証的な専門科目「ヨーロッパビジネス」・「Global Business」の両方を担当している。授業の補助資料としてのパワーポイントスライドでは、理論的な背景を十分に理解できるように、キーワードの説明を丁寧に行うとともに、最近のトピックスについての解説を含み、現実のビジネスの動きを理論と関連づけて理解を深められるように努めている。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
ビジネス学部長	2020年04月 ~ 2024年03月	
ビジネス学部・ビジネス研究科学生生活委員長	2024年04月 ~ 2026年03月	
Ⅴ 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		